

縮小社会研究会 第52回研究会



水素社会とは何か？

18世紀半から起こった産業革命は、化石燃料をふんだんに消費し、資本主義経済の画期的な発展に寄与し、その恩恵の中で私たちは暮らしています。しかし、今、貧困・格差を拡大する一方の資本主義経済体制の矛盾と共に、化石燃料をふんだんに使う生き方が環境破壊を引き起こす原因ともなっております。原子力エネルギーは過渡期のエネルギーとして捉えられていた中で、発展してきましたが、3.11以降、その使命を終えようとしています。しかし、デジタル化社会などを考えると、電力需要は拡大の一途をたどっていくことだと感じます。それらを鑑みて登場した一つが「水素社会」です。1937年に起こった「ヒンデンブルグ号」の惨事以降、単独で存在することの難しい水素H₂ガスは、そのハンドリングの難しさによって、ほとんど日の目を見ることもありませんでしたが、その後の技術革新と共に、ビジネスチャンスとして脚光を浴びつつあります。さて「水素社会」は人類の未来に寄与するのか、弊害をもたらすのか、未知の領海ではないかと考えなくもありません。私たちの未来は、「資本」に委ねることなく私たち自身が切り開かなければなりません。そこで、今回は2回に分けて「水素社会とはなにか？」の話題提供をして頂き、皆さんと共に考えてみたいとこの企画を試みました。どうか積極的にご参加下されば幸いに思います。

【その1】

日時：2021年4月7日、19:30-21:00

ところ：オンラインZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/82177070952?pwd=QVNnU0tRN1IKdGlvbUhh6YlZseUI1UT09>

ミーティング ID: 821 7707 095、 パスコード: 500874

「水素社会について」

大築康生 (大築技術士事務所代表)

現在、国を挙げて水素社会実現に向けてプロジェクトが進められていますので、プロジェクトの概要、水素社会を構成する要素技術等を一通りお話したいと思います。

まず、そのプロジェクトの目指すところを何かを簡単に紹介します。次に、水素の基本的性質とどのように製造され、運搬・保管され、利用されるかを紹介します。

最後に経済性や実現性などについての課題を示して、水素社会を考える上での基礎的な情報提供としたいと思います。



(裏に続く)

【その2】

日時：2021年4月11日、14:00-15:30

所：オンライン(zoom)

<https://us02web.zoom.us/j/89649524914?pwd=T1dCVkFEN0lyYWx5L2lNRU5mUS9SQ09>

ミーティング ID: 896 4952 4914、 パスコード: 589201

「水素利用は有利な手段か？」

尾崎 雄三 (縮小社会研究会 理事)

前回の大築氏の講演では水素をエネルギー源とする水素社会が広く解説されています。

水素は石炭や石油を利用する化学工業において比較的古くから使用されており、その特性や危険性もよく知られていて、製造方法も研究されています。

ここでは前回の講演内容を補足する形で、特に製造・利用時のエネルギーロス、他のエネルギー・電力貯蔵システムとの比較を中心に解説します。



参加登録：非会員の方は、松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで氏名と所属などをお知らせ願います。参加費は無料です。

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: jimukyoku@shukusho.org HP: <http://shukusho.org/>